

大阪体育大学成績評価ガイドライン

1. 成績評価基準

学生の成績は、シラバス等で示された授業の到達目標に対する学生の学修到達度によって評価する。成績の表示は次のとおりとし、A B C D Fの5段階で判定する。A B C Dを合格とし、所定の単位を与える。

表1 成績評価基準

評価	評点	成績評価基準
A	100～90点 GPAポイント 4	到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている。
B	89～80点 GPAポイント 3	到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。
C	79～70点 GPAポイント 2	到達目標を達成し、良好な成績を修めている。
D	69～60点 GPAポイント 1	到達目標を最低限達成している。
F	59～0点 GPAポイント 0	到達目標に達していない。

※GPA制度について

学生の履修科目の成績評価を点数化するGPA（Grade Point Average）制度を導入する。GPAは年間CAP数の上限緩和に利用するとともに、学業成績優秀者奨学金選考その他学部運営の参考とする。

2. 学修到達度の測定方法

授業の学習到達度は、以下の方法により測定を行う。

- ①筆記試験・口述試験・実技試験：知識の定着度（理解度）または実技の習熟度の測定に用いる。
- ②課題（レポート・制作物等）：思考力・判断力・表現力・応用力等の測定に用いる。
- ③授業態度：授業に参画する姿勢（授業中の発言や発表、レスポンスカードの記載内容等）により、授業への関心や意欲の測定を行う。

3. 留意事項

成績評価については、次の点に留意する。

- (1) 各科目の評価基準と評価方法は、シラバスに明記するとともに、各授業において周知する。
- (2) 「合格」の基準は、各授業で定めた到達目標の下に設定する評価基準に基づく絶対評価を基本とする。

(3) 成績評価の分布について、いずれかの評価に極端な偏りがないように留意する。評価が「A」や「F」に偏っている場合、当該授業の到達目標等が妥当でない可能性があり、その場合、到達目標の水準や学習内容等を見直す必要がある。

ただし小規模クラス及びGPA対象外科目においては、上記の限りではない。

(4) 複数クラスで複数教員が担当する授業の場合、成績評価の公平性を確保するために、教員間で明確な評価基準を共有する。

(5) 設定した評価基準及び教育の内容・方法の適切性については、成績評価の分布のほか、学生による授業評価の結果等も考慮して、質保証の観点から、継続的に見直しを図る。

令和4年2月24日制定